

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名【新】全国高等学校総合体育大会開催準備推進費（高校総体）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係

電話番号：058-272-1111(内8721)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,384 千円 （前年度予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,384	0	0	0	0	0	0	0	4,384
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県で令和 9 年度開催の全国高校総体スキー大会（冬季）及び令和10年度東海ブロック開催の全国高校総体（夏季）の開催に向けた準備を推進する。

(2) 事業内容

令和 9 年度全国高校総体スキー大会及び令和10年度全国高校総体（東海ブロック）の開催に向け、会議の実施や実施競技の準備を進めていく。

○開催市や各競技専門部、全国高校総体スキー大会（アルペン種目）および全国高校総体（体操、ウエイトリフティング、ホッケー、テニス、ハンドボール、バレーボール、剣道、フェンシング、ローイング）の先・後催県、東海 4 県準備委員会との連絡調整を行う。

○先催県の視察を行う。

<大会開催期日> 冬季：令和10年 2 月

夏季：令和10年 7 月下旬～8 月中旬

<開催種目> 10 競技 11 種目（体操競技のみ 2 種目）

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10/10
- ・全国高校総体スキー大会、全国高校総体において本県で実施する競技の準備に関わる費用であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅 費	3,855	視察派遣費
需用費	115	総合ポスター製作、記念品、印刷費
役務費	60	通信運搬費
委託料	354	ポスター・チラシ印刷業務
合 計	4,384	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例11条
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画
- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策Ⅳ 「学びの多様なニーズに応える環境」の充実
2 4 文化芸術やスポーツなどの才能や個性を伸ばす機会の充実

事業評価調書（県単独補助金除く）

☒ 新規要求事業
☐ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国高校総体スキー大会（令和10年2月実施）、全国高校総体（令和10年7～8月実施）に開催するために、大会の運営方針を示すとともに、開催市や競技専門部と広く連絡調整を行い、総務、広報・報道、競技、宿泊・衛生、輸送・警備、高校生活動において大会開催に向けた準備の推進を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

大会に向けた準備・運営に関する経費負担のため、指標として示す適切なものがない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	周期事業のため、未実施
令和5年度	周期事業のため、未実施
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	周期事業のため、未実施
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

現在全国高校総体(夏季)は、全国を9つのブロックに分けて開催している。全国高校総体スキー大会(冬季)は開催できる会場地が限られており、競技種目ごとに開催県が異なることもある。

大会を開催するにあたり、開催市との綿密な連携が必要であり、全国高校総体(夏季)においては東海ブロックでの開催となるため、開催市に加え、愛知県、三重県、静岡県との連携も不可欠である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

高校生にとって最高峰の大会であり、生徒の健全育成、競技力向上の面からも、事業の推進が必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント

又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由

や期待する効果 など